

8

環境と共生する 持続可能なまち



施 策

- 
- 1.環境への負荷の低減
 - 2.資源循環型のまちづくり
 - 3.自然共生型のまちづくり
 - 4.良質な水資源の確保と水質保全
 - 5.環境を大切にする人づくり
- 

重 点 項 目

- 新たな技術等の活用により、環境負荷が少なく、かつ、災害にも強くて安全な新中間処理施設の建設を推進します。
- 脱炭素社会を見据え、再生可能エネルギーの導入をはじめとした地球温暖化対策を推進します。
- かけがえのない自然環境を未来へと引き継いでいくために、市民や事業者と連携して生物多様性の保全に取り組みます。

関連指標

指 標	基 準 値(基 準 年 度)	目 指 す 方 向
年間温室効果ガス排出量	1,578千t-CO ₂ (H25)	➡➡ DOWN
再生可能エネルギーの年間発電容量	3.6%(H30)	➡➡ UP
省資源・省エネ・節水に心がけている市民の割合	84.8%(R1)	➡➡ UP

環境への 負荷の低減

現状と課題

- 近年では、社会経済活動の拡大や生活様式の変化などに伴って環境への負荷が増大し、地球温暖化に起因した気候変動による環境への影響が深刻化しています。
- 市民一人ひとりが自然環境に負荷を与える暮らし方、働き方を見直し、環境保全に向けた行動を実践することが求められています。
- 地球環境への負荷低減を図るため、環境に配慮した事業活動や低炭素設備の導入、公共交通や自転車などの環境に優しい交通手段の利用などを促進していくことが必要です。

方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 再生可能エネルギーの有効活用に努めます。
- 環境に配慮した事業活動や、低炭素設備の導入などを支援します。
- 公共交通・自転車など環境に優しい交通手段の利用を促進します。

関連する SDGs

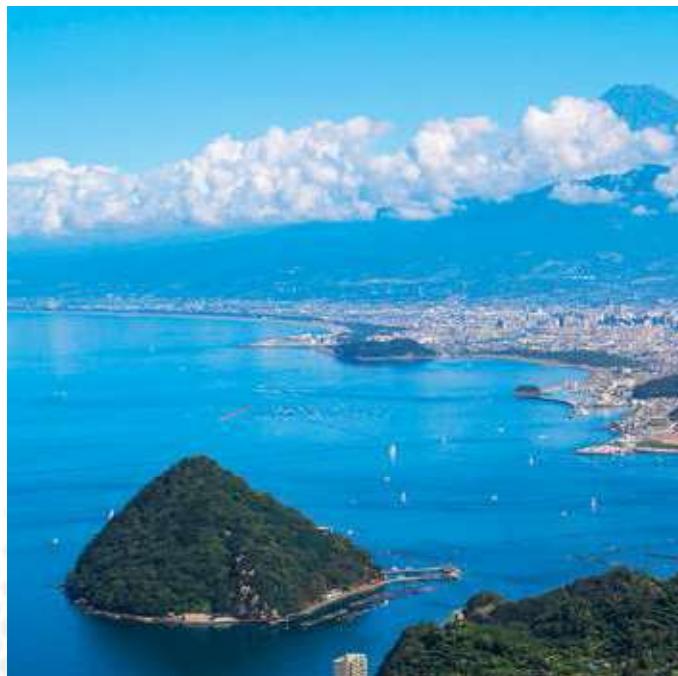


▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 環境に配慮した事業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市有施設における環境マネジメントシステムの実効的な運用を行い、環境負荷の低減を図るなど、継続的な改善に努めます。 ▶ 公用車における低公害車の導入を進めるとともに、市民・事業者に対しても普及促進を図ります。 ▶ 事業活動により生じる環境負荷の低減を図るため、事業所における環境マネジメントシステムの普及に取り組みます。 ▶ 市民が省エネルギー行動を自発的に取り組めるよう支援します。
2 環境に優しい交通手段の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共交通や自転車など、環境に優しい交通手段の利用促進を図るとともに、グリーンスローモビリティ※などの新たなモビリティサービスの調査、研究を進め、環境負荷の低減を図ります。
3 環境に配慮した施設整備や低炭素機器の導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市域の温室効果ガス排出抑制を図るため、公共施設における設備の低炭素化や環境負荷の低減に努めるとともに、市民・事業者への環境に配慮した設備の普及を図ります。 ▶ 低炭素化を目的とした機器などの導入を促進するため、設置等に対する支援を行います。
4 再生可能エネルギーの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 太陽光、風力、バイオマス※、地中熱などの再生可能エネルギー導入を促進するとともに、エネルギーの自家消費や地産地消など、地球温暖化対策の観点から、効果的な利活用を図ります。 ▶ 再生可能エネルギーの導入や利活用に当たっては、生活環境や多様な生態系の保全に努めるとともに、富士山や駿河湾などの眺望や本市のかけがえのない景観等との調和を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市環境基本計画
- 沼津市地球温暖化対策実行計画
- 沼津市気候変動適応計画
- 沼津市環境配慮行動計画
- 沼津市地域公共交通計画
- 沼津市自転車活用推進計画



資源循環型の まちづくり

現状と課題

- 本市は、全国に先駆けて市民参加によるごみの分別収集方式を開始し、ごみを資源として捉え、再使用と減量に努めてきましたが、高齢化の進行やごみ質の複雑化、各種リサイクル法の整備などにより、ごみ排出に対する負担感が増しています。
- プラスチックごみによる海洋汚染が深刻な環境問題となっており、我が国においてもプラスチックごみ削減の動きが見られます。
- 処理施設においては、清掃プラントの経年劣化や最終処分場の埋立残容量のひっ迫などの現状に対応するため、新たな技術の活用などによる安全で環境負荷の少ない施設の整備を行うことが求められます。
- 市民、事業者の理解と協力を得ながら、ごみの発生抑制・再使用・再資源化を行い、ごみの減量に努めるとともに、環境負荷や市民への負担が少ないごみ処理を推進していくことが必要です。



方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 資源循環を見据えた、安全で環境負荷の少ないごみ処理を推進します。
- 市民、事業者の理解と協力を得ながら、ごみの発生抑制・再使用・再資源化を推進し、ごみの減量に取り組みます。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 ごみの発生抑制・再使用・再資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民や事業者の意識向上を図り、ごみの発生抑制を進めます。 ▶ 市民、事業者、行政が、それぞれの役割と責任を果たしながら、再使用・再資源化への取組を推進します。 ▶ 本市が抱える課題や国の施策の動向、新中間処理施設の整備等を踏まえ、環境負荷や市民への負担が少ないごみの分別・排出方法を検討します。 ▶ 低炭素社会、更にその先の脱炭素社会を見据え、ごみをできる限り再使用・再資源化するようリサイクルシステムの調査、研究を行います。
2 安全で環境負荷の少ないごみ処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 最新の技術情報をもとに、より効率良く、より環境負荷の少ないごみ処理を目指し、災害にも強くて安全な新中間処理施設の建設を行います。 ▶ ごみより生じる資源や熱エネルギー等を効率良く回収・利活用することにより、地域資源の循環を図ります。 ▶ 最終処分場の延命化を図るとともに、新しい最終処分場の確保に努めます。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市環境基本計画
- 沼津市一般廃棄物処理基本計画
- 沼津市新中間処理施設整備基本計画



◆自然共生型の まちづくり

現状と課題

- 本市は、温暖な気候のもと、海・山・川など豊かな自然環境に恵まれており、ここに生息・生育する貴重な生物たちは、市民生活に潤いと安らぎを与えています。
- 自然と人が互いに共生してきた里地、里山※、里海※は、世界に誇るべき宝であり、未来へと確実に引き継ぐ責任があります。
- 耕作放棄地の荒廃が進む里山、ポイ捨てや不法投棄が原因で汚染されやすい里海の環境保全に努めていくことが必要です。
- 自然環境や生物多様性の保全を継続し、自然環境と共生し、発展するまちづくりを推進していきます。

方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 里地、里山、里海などの保全に努め、豊かな自然と人が共生できるまちを目指します。
- 自然環境や生物多様性の保全に努めます。
- 市民や事業者、近隣自治体とも連携を図りながら自然環境保全活動を推進します。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	自然環境・生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 身近な自然環境における生物多様性を守るための行動を支援します。 ▶ 市民共通の財産ともいえる愛鷹山麓や達磨山山系などに広がる森林や千本松原などの保護及び育成を推進します。 ▶ 市域における生物多様性の保全について、近隣自治体とも連携した取組を行います。 ▶ 水・大気の環境保全を図るため、水質の汚濁や大気の汚染の状況を監視します。
2	生態系からの恵みの持続的な享受と活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生態系からの恵みを持続的に享受・活用するために、里地、里山、里海など自然環境の特性に合った保全に取り組みます。 ▶ 香貫山や狩野川、御浜岬などの自然を活用し、潤いと安らぎの空間づくりを進めます。 ▶ 持続可能な農林水産業や環境に配慮した商工業などを通じて、産業が自然環境と共生し、ともに発展していくまちを目指します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市環境基本計画
- 沼津市生物多様性地域戦略
- 沼津市森林整備計画



良質な水資源の確保と 水質保全

現状と課題

- 本市の水道水は、富士山の恵みである清浄で豊潤な柿田川の湧水などを水源としており、その豊かな自然から育まれたおいしい水は、本市に住む魅力の一つとなっています。
- 良質な水資源の確保、市民の健康を保護するため、水源環境の保全や周辺市町等と連携した地下水の適正利用・汚染防止などに努めることが必要です。
- 河川や海の水質保全や清潔で快適な住環境の維持のため、生活排水や事業活動等により生ずる排水の適正処理を行う必要があり、計画的な下水道施設の整備等を推進することが求められます。



方向性

動き出す 創り出す

- 周辺市町等と連携した地下水の適正利用や汚染防止などに努めます。

誇りと つながり

- 良質な水資源の確保のため、水源環境の保全に努めます。

心も体も 元気で健康

- 地域の特性を踏まえた下水道と合併処理浄化槽の分担による排水の適正処理を推進します。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	水源環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自然環境・森林保全の一環として富士山への植樹に参加するなど、水源環境の保全に努めます。 ▶ 市民団体などによる環境保全活動への参加や協力を推進します。 ▶ 良質で安全な水道水の供給を継続するため、適正な水質管理を行います。
2	地下水の適正利用と汚染防止	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地下水源の保全や適正利用を図るため、地下水採取者との連携と協調を図ります。 ▶ 海域、河川、井戸における水質調査や必要に応じ事業場等への排水等に係る指導を行うことで、水質汚濁防止対策を推進します。
3	排水の適正処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 清潔で快適な生活環境の確保と公共水域の水質保全を目的に、下水道計画区域においては、下水道の効率的な整備に努め、普及率の向上を図ります。また、下水道計画区域外においては、合併処理浄化槽への切り替えを推進します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市環境基本計画
- 沼津市一般廃棄物処理基本計画
- 沼津市水道事業ビジョン
- 沼津市下水道ビジョン



環境を大切にする 人づくり

現状と課題

- 経済活動や医療、福祉、教育など、市民生活全ての分野において、持続可能なまちの発展と環境保全との両立を目指していくことが求められることから、日常生活と環境との関わりについて、市民一人ひとりが理解を深めることが必要です。
- 様々な機会を捉えて環境教育・学習を推進し、更なる環境保全意識の醸成を図ることが重要です。
- 自主的・積極的に環境の保全や環境美化などに取り組めるよう、環境を大切にする人づくりに努めるとともに、市民・団体等が自主的に行う環境保全活動を広げていくことが必要です。

方向性

**動き出す
創り出す**

**誇りと
つながり**

**心も体も
元気で健康**

● 自然環境の活用をはじめとした、環境教育・学習を推進し、環境保全意識の向上と醸成を図り、環境を大切にする人づくりを推進します。

● 持続可能な社会の構築のため、市民、団体が行う環境保全活動を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	環境教育・ 学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自然体験活動や生態系を題材とした学習等を通じ、里地、里山、里海等への愛着を育むとともに、自然環境を大切にする人づくりを推進します。 ▶ 市民一人ひとりの生活における環境保全意識の更なる醸成を図るため、幅広い世代を対象とした環境教育を推進するとともに、教育機関等との連携による環境教育・学習に取り組みます。 ▶ 市民・事業者が自主的・積極的に開催する環境学習を支援します。
2	自主的・ 積極的な 環境保全活動の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境美化指導員等の協力のもと、市民による環境美化活動を促進するとともに、市民一人ひとりの日常生活や事業所活動における環境美化意識の向上を図ります。 ▶ 様々なメディアを活用し、持続可能なまちの発展と環境保全活動との両立に関する環境情報の提供を行います。 ▶ 市民・団体等が自主的に行う環境保全活動を支援し、積極的な活動の実践を促進します。

▶ 関連する主な計画 ◀

○ 沼津市環境基本計画

